

日能研	5年						
	算数						
学習内容	1回 順列・組み合わせ①2回 場合分けと調査②3回 周期と余り・等差数列③4回 比例・反比例						
家庭学習ポイント	1回12回は「場合の数」についてです。1回は「順列・組み合わせ」で、「順列」ではカードを並べて数字をつくる問題などを学習します。まずは数えだすところからスタートです。樹形図を正しく書けることも重要です。数字づくりの問題に関しては「偶数・奇数」「〇〇の倍数」など他の単元の知識も必要になる問題が多いので、しっかり思い出したいですね。「組み合わせ」ではまずは数えるところからスタートし「ならべ方」との違いをしっかりと理解することが大切です。目で見ても「重複」を意識し、それをさけるための作業と計算方法を学びます。2回では書いて調べたり「場合分け」を行う問題について学習しますが、近年の入試問題ではこちらの分野の出題が多くなっていることも、知っておくといいいでしょう。3回はあまりによる組分けや等差数列についてです。さまざまなタイプの問題がありますが、すべてに共通するのは「数字がある決まりにしたがって並んでいる」ということです。その決まりを見つけ出す方法を学ぶのがテーマです。4回は比例と反比例を学習します。比例は2つの数字の商が一定、逆に反比例は積が一定であることを学びます。上記を式で表したり、グラフで表すことも重要ポイントですね。						
課題の把握と解決策	チェック1	樹形図を正しく書くことができますか？					チェック
	解決策	物を数えるときにしてはいけないのが「手当たり次第」です。順序よく数えられているかチェックを					□
	チェック2	場合の数の問題を、何でも計算だけで解こうとしていませんか？					チェック
	解決策	近年の入試問題では数え出しが中心の問題が多く、正しく数えられることは重要です					□
	チェック3	カレンダーを見たとき「7でわったあまり」という切り口で説明できますか？					チェック
	解決策	カレンダーをたてに見ていくと「7でわったときのあまり」が等しい数字が並んでいますね					□
	チェック4	比例と反比例を、言葉で正しく説明できますか？					チェック
	解決策	「一方が2倍になったらもう一方が」2倍になるのが比例、1/2になるのが反比例ですね					□
	チェック5	つねに解き方を「言葉で説明できる状態」で問題を解いていますか？					チェック
	解決策	算数だからこそ、すべてを言葉で説明できる状態で勉強することは重要です。					□
日能研	5年						
	国語						
学習内容	1回 乱文整序①2回 文章構成①②3回 文章構成②③4回 文章構成③						
家庭学習ポイント	9月の素材文は説明文・論説文です。指示語、接続語に注意して文を並べ替える、文章構成を捉える、具体⇔抽象や対比の関係に着目する、といった点を学習します。知識は、漢字の成り立ち、部首、画数、筆順、熟語の組み立てなどを扱います。乱文整序のポイントは、指示語と接続語です。指示語と接続語に着目し、文と文のつながりを考えます。指示語が含まれた文章をよく読み、指示語がどのようなものを示すのかを考えて、それが含まれる文を探すのです。接続語については、まずはわかりやすいつながりを考えましょう。たとえば「しかし～」とあれば「～」の内容をよく読み、逆の意味の内容が含まれる文を探す、といった手順ですね。2回からは文章の構成について学びます。文章の構成とは、文全体を俯瞰してみたときにどのような作りになっているかということです。たとえば説明文であれば「話題提起～具体例や問題点など～筆者の意見・結論」といった構成は典型的です（実際にはさらに枝葉が付きまします）。こういった構成がつかめれば、文章の要旨を外すことなく読み取ることができ、結果として問題を解く精度も高くなります。慣れるまでは大変ですが、しっかり方法を身につけていきましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	文章の並べかえの問題が正しくできていますか？					チェック
	解決策	習った方法をしっかりと使ってみる、ということが大切です					□
	チェック2	段落ごとに「何が書かれているか」を説明できますか？					チェック
	解決策	ふだんから親御さんが質問してあげてもいいですね					□
	チェック3	説明文・論説文は大きく「事実（具体例）」「筆者の考え」を読み分けていますか？					チェック
	解決策	上記を心がけるだけでも文章の構成が見えてきますね					□
	チェック4	テストの直しは順調にできていますか？					チェック
	解決策	ためてしまわないように、返却されたらすぐにやっておきましょう					□
	チェック5	語彙をコツコツと増やす努力を続けていますか？					チェック
	解決策	読解力をつける最大のコツの1つは「語彙力をつける」ことです					□

日能研	5年						
	理科						
学習内容	1回 地層と岩石 ¹ 2回 地層からわかること ² 3回 太陽の熱がもたらす変化 ³ 4回 四季と天気						
家庭学習ポイント	9月は地学を学ぶ1か月です。1回と2回は地層と岩石について学習します。まずは川の流れによって「侵食」「運搬」「堆積」の3つの作用が起こること、3つの作用は川の流速と水量によって決まることなどを、順を追って理解、整理しておくことが大切です。「上流⇒侵食」「中流⇒運搬」「下流⇒堆積」などと丸覚えせず「上流は川の傾斜が急だから流速が速く、川底を削り取るはたらきがさかん＝浸食作用」と、流れを理解しておくことが大切です。このようにして堆積したものが地層となり、岩石ができます。岩石については表にまとめて覚えるといいですが「丸覚え」しようにせず工夫しましょう。理科のテキストでは「デイ岩」のようにカタカナ表記が使われますが「泥岩」と漢字を知っていると「何でできているか」がイメージしやすいですね。「ギョウカイ岩」も「凝灰岩」を知っていると「火山灰が積もってきた」とすぐにわかります。3回、4回は気象についての学習です。太陽の熱エネルギーによって地上の水は蒸発し、雲ができます。また熱せられた空気が上昇気流となって風が吹き…と、気象の「おおもと」は太陽なんですね。4回では日本付近の1年の天気の変化（四季）について学習します。他の分野同様に「丸覚え」せず、太陽のエネルギーをスタートとした「ストーリー」で理解するよう心がけましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	地層の変化から「当時、海面が上がったか下がったか」を聞く問題を正しく解けていますか？					チェック
	解決策	「浅くなる＝流れが速い＝粒が大きくなる」といった切り口で考えてみましょう。丸覚えはNGです					□
	チェック2	地層の新旧の判別問題を正しく解けていますか？					チェック
	解決策	「他のものに切られたり侵食されていないものほど新しい」といった切り口で考えてみましょう					□
	チェック3	「地層が地上に出た回数」を聞く問題を正しく解けていますか？					チェック
	解決策	「不整合面の数+1」ですね。なぜ「+1」なのかお子さんに質問してみましょう					□
	チェック4	気象についての学習を「丸暗記」しようとしていませんか？					チェック
	解決策	風がふくにも雨が降るにもすべて「ストーリー」があります					□
	チェック5	日本の四季の天気の特徴について、1年分説明できますか？					チェック
解決策	こちらもちやほり1年を通した「ストーリー」があります。本科の説明をもとに組み立ててみましょう					□	
日能研	5年						
	社会						
学習内容	1回 大陸と陸続きだったころ ¹ 2回 ムラからクニへ ² 3回 大陸から渡ってきた人たち ³ 4回 都をささえた人たち						
家庭学習ポイント	9月から本格的に歴史の学習が始まります。「旧石器時代・縄文時代・弥生時代」～「古墳時代・飛鳥時代」～「奈良時代」～「平安時代」と進み、9月中旬に平安時代入ります。歴史の学習では地理以上に「時代の流れ」つまり出来事同士の因果関係の理解を意識して学習することが大切です。その意味でも、年表を利用して知識を整理するのが効果的です。年表を確認した上で、あらためて本科教室を読み、歴史の流れを把握した上で「栄冠への道」も問題に取りかかりましょう。また、その時代に活躍した主要な人物を軸につかむことが大きなポイントになります。たとえば飛鳥時代の政治史であれば、その中心人物は間違いなく聖徳太子であり、豪族ではなく天皇中心の政治を進めた聖徳太子が何をしたかを、しっかり掘んでおくことが最大のポイントになります。江戸時代～近代とくらべてまだ登場人物は少なく、流れをシンプルに理解しやすいので、ぜひこの時期に歴史の学習のしかたの「スタイル」を確立してしまいましょう。地理の学習から離れて忘れてしまいがちですが、それぞれの時代の中心となる部隊が日本地図上でどこなのか、把握しておくことも大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	遺跡などの場所を日本地図上で把握できていますか？					チェック
	解決策	旧石器・縄文・弥生については、各時代の遺跡の名前と位置を白地図上に書いて整理しましょう					□
	チェック2	飛鳥時代以降は、その時代を代表する人物を把握できていますか？					チェック
	解決策	以後常にこのことを頭に入れて歴史の学習に取り組みましょう					□
	チェック3	歴史学習の入り口として、年表を活用できていますか？					チェック
	解決策	「栄冠への道」の年表を使った問題なども活用して歴史の流れをつかみましょう					□
	チェック4	ルーティンの学習に地理を組み込んでいますか？					チェック
	解決策	特に地理が苦手だったお子さんは、長期間放置すると大変です					□
	チェック5	歴史学習の「スタイル」を確立できていますか？					チェック
解決策	古代～中世くらいのうちに「因果関係で流れを掴む」学習法を身につけてしまいましょう					□	